

とやまファン倶楽部

会報 No.38



CONTENTS

リレーエッセイ 36 / 中島 祥元	2P
第27回とやまファン倶楽部会員交流会	3P
会員交流広場	4P
第41回「とやま賞」	5P
「夢の卵」育成事業	6P
富山県からのお知らせ	7P

「スポーツ」で富山を応援したい

中島祥元 さん



プロフィール

中島 祥元 (なかしま よしもと)
1976年富山県高岡市生まれ。
2001年早稲田大学人間科学部スポーツ科学科を卒業後、スポーツ関連ベンチャーの立ち上げに参加、取締役を務める。
2009年株式会社ルーツ・スポーツ・ジャパンを設立、2012年一般社団法人ウィズスポ(現一般社団法人ルーツ・スポーツ・ジャパン)を設立し両法人の代表。
これまでにプロデューサーとして、自転車、ランニングを中心とした大小様々なスポーツイベントの立ち上げから企画運営、スポーツによる町おこし・地域活性化事業、公共スポーツ施設の事業開発等に従事。スポーツツーリズムやサイクルツーリズムの分野では官公庁の行政委員も多数務める。とやまふるさと大使、とやまファン倶楽部世話人。

今年(2024年)に入ってから、かなり頻りに富山に帰っている。つい先日、金婚式を迎えたばかりの両親と高岡(氷見の景勝地巡りをしてきた(雨晴海岸がとても美しく、平日なのに観光客も大勢いてそれが嬉しかった！))。平均すれば月に2回くらいのペースで、これは大学進学を機に高岡から東京に出てきて以来、おそらく最も多い頻度になると思う。理由を自分なりに考えてみると、元日に母方の実家である氷見の海岸線にあり、あの能登半島地震を体験したことも関係しているかもしれない。「富山に時間をもっと増やしたいな」と思うようになった。

高校まで高岡で過ごし、大学進学を機に上京、卒業後にスポーツビジネスの世界に入った。その後独立して自分の会社を立ち上げ、いまはルーツ・スポーツ・ジャパンという「スポーツ×地域活性化」の会社を経営している。「スポーツ×ツーリズム(観光)」とも称される領域で、主に地方でスポーツを楽しむ(する、観る)機会を創り、都市部や海外から人を地方に動かし、その地域に経済効果や交流人口の拡大といった効果を生むというもの。全国35を超える都道府県で何かしらの取り組みをさせてもらっている。もちろん、富山でも。

ぼくが「スポーツ」を生涯の仕事として選んだのは、それまでに生きてきた中で、自分自身が感じたことのある、もっとも素晴らしい瞬間は常にスポーツとともにあったから。中学高校の部活動での経験なども含め、スポーツで「心が前向きに動く」のをいつも感じてきた。自分が心から素晴らしいと思えるこの分野で、より多くの人に幸せや感動を与えられる仕事がしたいと強く思う。これから、そしてもう一つのキーワードである「地域活性化」を選んだのは、これは父が高岡商工会議所の職員として、日々、高岡の街をいかに元気にしていくかを考えている姿をみてきたから、というのも多少影響があるのかなと自己分析している。スポーツの力で日本中の地域を元気にしていきたい。

富山では「高岡ねがいみち駅伝」という市街地型のランニングイベントを開催させてもらった。北陸新幹線開業が数年後に迫った2012年頃、「マラソンイベントを開催して高岡を盛り上げよう」という企画書を書いて色々な方をご紹介いただき、ご縁がつながり地元若手経営者の皆さん(元氣たかおか未来会議)と意気投合、2013年に初開催することができた。幼い頃の記憶では大勢の人で溢れかえっていた高岡の中心市街地に、多くの市民ランナーや応援する方々が詰めかけ、大賑わいとなった光景

には感慨深いものがあつた。残念ながら2020年以降は新型コロナの影響で大会が中止になり再開できていないが、また機会をみて復活できたらいいなと思う。個人的には、バスケットボールBリーグに所属する富山グラウジーズを熱烈に応援している。富山での試合にも年に何度か足を運ぶし、関東近郊でのアウェイゲームには息子も連れて応援に出かけることも多い。

富山グラウジーズのチームスローガンは「喰らいつけ」。少し長いけど全文引用すると「富山はおとなしい。富山はつまらない。そんなこと誰が決めた。大都市ではない。ビッグクラブでもない。でも、そんなものは大したことじゃない、と決めつける。(中略)恐れることを知らないその態度が、追って、追って、追いつけるその姿勢が、富山の誇りになると信じて。喰らいつけ」。ぼくはこのスローガンが大好きだ。やもすると「謙虚でおとなしい」とされがちだけど実は「芯が強く、負けず嫌い」なところもある富山県人の県民性をよく表している、強いものに立ち向かっていく心意気は、中小ベンチャーの経営者である自分自身とも重ね合わせられてグッとくる。グラウジーズは2026年からの新リーグにおいて、最上位の「Bプレミア」に参入できることが先日決まった。日本のTOPリーグで存分に喰らいついて欲しい。

自分自身の事業でも、また仕事以外の活動も含めて、これからもスポーツを通じて富山を応援し続けていきたいと思う。



高岡ねがいみち駅伝



富山グラウジーズ関連 家族で観戦の様子

第27回 とやまファン倶楽部 会員交流会

TOYAMA FAN CLUB



会員と富山県及び会員相互の情報交流の場である「とやまファン倶楽部会員交流会」が令和6年7月17日（水）、ホテルルポール麹町（東京）で約100名の会員の皆様の参加のもと、盛大に開催されました。

新たに代表世話人に就任された大田世話人の開会挨拶で幕を開け、新入会員のご出席者2名の方をご紹介するとともに、とやまふるさと大使の名刺リニューアルのお披露目のほか、日本橋とやま館の食事券や商品券、富山米品種「富富富」と富山の名水セットが当たるお楽しみ抽選会が行われました。

また、とやま和牛酒粕育ちのステーキや「富富富」握り寿司の実演コーナーをはじめ、富山の新鮮な食材を使った料理や地酒、県産ワインを用意し、会員の皆様に富山の味を堪能していただきながら、終始和やかに皆様の話の輪が広がりました。



会場の様子



新入会員の皆様紹介



とやまふるさと大使名刺PR



お楽しみ抽選会



会員交流広場

～皆様からのメッセージの一部を紹介～

令和6年度の会員交流会(7月17日(水)開催)のご案内にあわせて皆様からいただきましたメッセージを、当財団のホームページ「とやまファン倶楽部会員交流コーナー」(<https://www.t-hito.or.jp/zaidan/jinzai/fan/05x.html>)に掲載させていただいております。

北陸新幹線が敦賀まで開業したことで、富山、石川、福井の北陸三県の一体感が強くなり、発信力が高まりました。

三県のそれぞれの個性を磨きながら、北陸はひとつになって、産業・文化・歴史風土・観光・雪国・日本海などの営みも磨きましよう。

皆さんで力を合わせて、大きなポテンシャルを秘めた富山県をもっともって盛り上げて行きましよう!!

富山の自然の豊かさ、食の美味しさ、住みやすさといった富山らしさを活かした観光事業の推進に期待しております。

カタール・富山 J2昇格目指して頑張れ!

昨年入会致しました。コロナ禍も明けて、会員交流が益々活発になる事を期待しています!

両親が他界して七回忌となり「故郷は遠きにありて思うもの」になりつつありますが、「そして悲しくうたふもの」とならぬよう、年に一度は富山へ行き、セピア色になりつつある思い出の彩度を補正したいものです。

「寿司と言えば、富山」ブランディング施策、とてもおもしろいと思っています。

食べ物はブランド構築が重要。富山の新鮮な魚介もお米もひかっています。

「西のサン・セバスチャン(スペイン)、東の富山」で美食をもっとアピールしてもいいです。

—消費者としても楽しみに応援しています。

富山には技術力を持った中小数多くの企業が存在しています。こうした企業がお互いに競い合うのではなく、県を中心に技術力を結集してあらたなビジネスを展開していただけたらと思います、特に製菓関係の企業に期待しています。

2015年の第1回以来、久しぶりに富山マラソンに参加します。

少しでも能登半島地震を乗り越えようとされている皆様のお力になれるよう、楽しみながら頑張ります!

威風堂々とした冬の立山、立山黒部アルペンルートの「雪の大谷」、富山湾の白エビ漁…。短い間でしたが富山での取材の思い出は忘れられません。ゆっくり訪れたいです。

富山の大自然と食文化は本当に素晴らしいです。ぜひそれをもっと日本や世界に発信し、わかりやすく見せることにがんばってもらえれば嬉しいです。

お正月の地震では、大変な被害となられた方もいらっしゃる、心よりお見舞い申し上げます。今後ともどうぞ皆様ご健勝でご活躍なされることを心よりお祈りいたします。

大学を卒業して50年近く経ちますが、同期会を風の盆に合わせて企画したところ、想定を超える参加希望が寄せられました。幹事として宿の手配等に追われていますが、この時期、風の盆の人気の高さもあり予約等の大変さに嬉しい悲鳴をあげています。

先日、高岡市伏木町を訪問しました。

国宝 勝興寺は平成の大修理が終わり、素晴らしい伽藍へと変貌していました。損傷は微小でした。伏木町中、中央通りは能登半島地震の影響で液状化状態の跡が続いていました。

復興支援はまだまだです。皆様のご支援が必要です。

「とやまファン倶楽部」新入会員ご紹介のお願い

当倶楽部では、会員ネットワークのさらなる拡充を目指し、会員の皆様に新入会員のご紹介をお願いしております。富山県外在住で、とやまを愛し、応援して下さる方がいらっしゃいましたら、是非、事務局までご紹介ください。皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

連絡先：(公財)富山県ひとづくり財団 とやまファン倶楽部事務局
(☎076-444-2000、E-mail:k.murakami@t-hito.or.jp)



当財団では、富山県の置県百年(昭和58年)を記念して富山県ならびに日本の将来を担う有為な人材の育成に資する目的で「とやま賞」を創設し、昭和59年の第1回から今回で41回目を迎えました。

受賞対象者は、富山県出身者または富山県内在住者で、学術研究、科学技術、文化・芸術、スポーツの分野において、顕著な業績を挙げ、かつ、将来の活躍が期待される人に対して、賞状、奨励金を贈呈して、その活動を奨励しております。

令和6年度の贈呈式は、5月21日(火)に富山市のパレプラン高志会館で行われ、学術研究部門で5名の方々が受賞されました。

第41回受賞者

学術研究部門 医薬・生命科学分野(分子生理学)

富山大学 学術研究部 薬学・和漢系 講師

藤井 拓人 氏

「イオンポンプの異常に着眼した難治性疾患治療法の開発基盤の構築」



学術研究部門 医薬・生命科学分野(消化器内科)

The University of Texas MD Anderson Cancer Center Postdoctoral fellow

牧野 祐紀 氏

「癌抑制遺伝子p53の活性化による慢性肝疾患の病態進展メカニズムの解明」



学術研究部門 理工分野(ケミカルバイオロジー)

東京工業大学 科学技術創成研究院 化学生命科学研究所 准教授

岡田 智 氏

「生体分子機構解明に資するMRIプローブの開発」



学術研究部門 人文社会分野(臨床心理学)

聖路加国際大学 公衆衛生大学院 准教授

佐藤 聡美 氏

「小児がんにおける認知機能フォローアップ体制の整備」



学術研究部門 人文社会分野(歴史学・日本史)

富山大学 学術研究部 人文科学系 講師

長村 祥知 氏

「承久の乱を中心とする日本中世の政治史および歴史叙述の研究」



石塚選考委員長より選考経過報告



新田知事より贈呈



受賞記念講演

「夢の卵」 育成事業

この事業では、「将来こんな職業に就きたい」という「夢の卵(将来の夢)」を作文にしてもらい、優秀作品を表彰して、その道の専門家のもとへ派遣しています。

令和6年度で20回を数え、小学生の部と中学生の部をあわせて1,006作品の応募があり、その中から選ばれた4名の子どもたちに夏休み期間中、夢に一步近づいてもらうために、短期入門してもらいました。



小学生の部 (応募数449作品)

入門内容

人の役に立てる ロボットプログラマーになりたい

原田 遥香さん (南砺市立城端小学校5年)

ロボットによる治療やケアの有用性に気づき、ロボットプログラマーになりたいと富山県立大学の知能ロボット工学科に入門。これからの社会におけるロボットの役割や基礎となるプログラミングについて学び、実際にロボットを製作しました。



プログラミングについての講義



スマホでコントロールできるロボットの製作

入門内容

患者さんに安心や生きる希望を 届けられる病院薬剤師になりたい

嶋原 颯真さん (高岡市立高岡西部小学校6年)

過去に家族が病院薬剤師に支えられた経験から、自分も病院薬剤師になって患者に生きる希望を与えられるようになりたいと厚生連高岡病院に入門。病院薬剤師の役割・業務について学び、模擬調剤を体験したり、実際の患者指導を見学したりしました。



病院薬剤師の役割・業務についての説明



模擬調剤体験

中学生の部 (応募数557作品)

入門内容

世界中の困っている人を助けられる 国際機関職員になりたい

清原 歌帆さん (小矢部市石動中学校1年)

報道から世界には多くの紛争と難民が存在することを知り、将来は難民を支える仕事に就きたいと、UNHCR(国連難民高等弁務官事務所)駐日事務所、国連UNHCR協会に入門。世界情勢の中での難民を取り巻く最前線について知り、今後自分に何ができるか、何をすべきかを考える機会となりました。



UNHCR職員の方との対談



キャリア大学での意見交換

入門内容

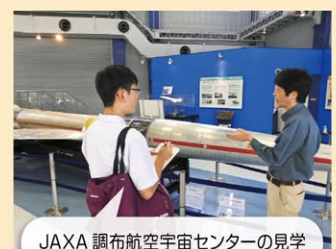
日本の宇宙産業を輝かせる 開拓者になりたい

山本 悠仁さん (富山大学教育学部附属中学校1年)

宇宙開発に強い興味と憧れがあり、日本の宇宙産業をリードする開拓者になりたいと、有人宇宙システム株式会社(JAMSS)に入門。宇宙開発・研究の現状や宇宙飛行士の訓練内容、国際宇宙ステーションの運用について学びました。入門とは別にJAXA調布航空宇宙センターを見学させていただきました。



宇宙飛行士訓練についての講義



JAXA調布航空宇宙センターの見学

みらいの 起業家マインド 育成塾



この事業では、社会の変革期に、失敗を恐れず自分で考え行動する「生きる力」を養うためのワークショップを開催しており、3回目となる今年度は、令和6年8月7日(水)に開催し、小学6年生～中学2年生までの41名が参加しました。

ワークショップでは、カードゲームを使って、社会や経済・お金の仕組みを楽しく学ぶことで、今までにないアイデアで新しい仕事を生み出し、チームで協力しながら問題を解決することを体験し、他者と協働しながら新しい価値を創造する力など、これからの時代を生きていくために必要な力を育みました。

経済のしくみ を知ろう

経済・お金のしくみをカードゲームを使って楽しく学びます。

自分の長所を 見つけよう

自分がまだ気づいていない長所や特長を見つけてみます。

みらいをつくる ヒントをつかもう

よりよい社会との関わり方を、普段会えないような職種の方や大学生と一緒に考えます。

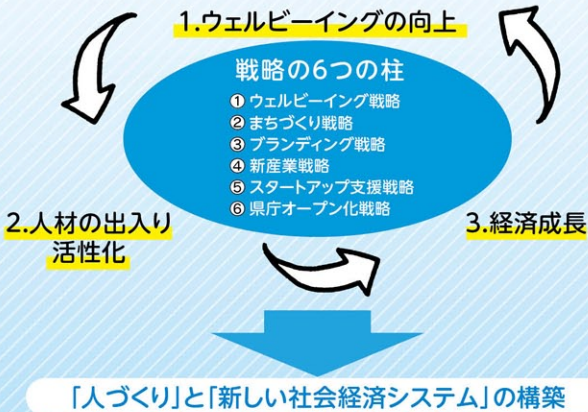


富山県成長戦略

本県では、令和4年2月に「富山県成長戦略」を策定しました。成長戦略では、ウェルビーイングの向上により人材の出入りを活性化させ、次世代の新しい価値を産む人材の育成と集積を図り、そして、そのような人材が経済成長を創出し、さらにウェルビーイングが向上するという好循環の創出を目指しています。成長戦略の6本の柱(下図の①～⑥)により、この好循環を創出し、「人づくり」と「新しい社会経済システム」の構築を進めています。

成長戦略のビジョン

**「幸せ人口1000万～ウェルビーイング先進地域、富山～」
の実現に向けた好循環を創出**



富山県成長戦略カンファレンス

「しあわせる。富山」

成長戦略のビジョンの実現に向けて、県内外の方が集い議論を深め、新たな取組みを創出する場として、毎年、「しあわせる。富山」を開催しています。令和6年度アーカイブを12月下旬頃に公開予定です。

アーカイブ
動画・記事
配信中!

「しあわせる。富山」特設サイト

お問い合わせ
知事政策局成長戦略室戦略企画課
〒930-8501 富山市新総曲輪1-7 県庁本館3階
TEL:076-444-8916 E-mail: aseichosenryaku@pref.toyama.lg.jp

ウェルビーイングの推進

「ウェルビーイング」は、心も身体も、社会とのつながりも良い状態で、自分らしく、いきいきと生きることが出来る一人ひとりの“幸せの実感”などを表す言葉として、注目が高まっています。県では、身近なことからウェルビーイング向上の行動に繋げていただくため、双方向型の特設サイト等で、皆様とのコミュニケーションを図っています。

●特設サイトで「ウェルビーイング」発信中!

様々な参加型コンテンツを掲載しています。

○ウェルビーイング・チェック!

設問に回答することで、ご自身のウェルビーイングの状態を花の形で表現!(グループ・団体でも利用できます。)

○ウェルビーイングを身近に感じよう!

- ・ **しあわせる。100のたね/ウェルビダンス**
皆さんの取り組みやダンス動画等を紹介・募集中!
- ・ **ウェルビーイング・コミュニティとやま**
多様な参加者が交流し、富山を盛り上げることを目指すオンラインコミュニティの参加者募集中!

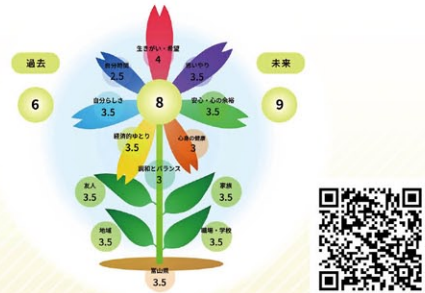
その他、詳しい情報は右記サイトをご覧ください。

あなただけの花を咲かせよう!

What's well-being?

ウェルビーイング・チェック
やってみた

ウェルビダンス
動画コンテンツ公開中! /



富山県ウェルビーイング特設サイト
「わたしの。みんなのウェルビーイング・アクション!」
<https://wellbeing.pref.toyama.jp/>

お問い合わせ
知事政策局成長戦略室ウェルビーイング推進課
TEL:076-444-8493
E-mail: aseichosenryaku@pref.toyama.lg.jp

「寿司といえば、富山」

富山県では、昨年、「寿司」を入口に、雄大な自然や歴史、食や文化、暮らしやすさなど本県が誇る様々な魅力を国内外の方に知ってもらうことで、本県の認知度を高め、「幸せ人口1000万」の創出・拡大を図るため、「寿司といえば、富山」のブランディングプロジェクトをスタートしました。

10年後となる2032年の目標として、①「寿司といえば、富山」の県外認知度90%、②富山の「寿司」を友人などに積極的に勧める県民の割合90%の実現を目指しています。

「寿司」は、国内はもちろん海外でも人気が高く、標高3,000mの立山連峰と水深1,000mの富山湾との高低差4,000mのダイナミックな地形がもたらす、ブリやベニズワイガニ、ホタルイカ、シロエビなど新鮮で美味しい魚介や県産米のシャリ、清涼な水といった富山ならではの“食の強み”を活かした富山の「寿司」は格別です。

こうした「寿司」を突破口に、一緒に楽しむ酒や食を彩る伝統工芸の器といった文化や上質な暮らしなど、本県の多様な魅力を一体的にアピールしていきます。

去る8月から、俳優の石原良純さんが出演するPR動画を、富山県公式YouTubeチャンネル等で公開していますので、ぜひご覧ください。



寿司といえば、富山

お問い合わせ:
知事政策局広報・ブランディング推進室
ブランディング推進課
TEL:076-444-3574



問合せ先

■事務局

公益財団法人 富山県ひとづくり財団

〒930-0018 富山県富山市千歳町1-5-1 富山県教育記念館2階

TEL076-444-2000 / FAX076-444-2001

E-mail:toyama@t-hito.or.jp <https://www.t-hito.or.jp/zaidan/index.html>



■連絡所

富山県知事政策局成長戦略室

〒930-8501 富山市新総曲輪1-7

TEL076-444-8489 / FAX076-444-3473

富山県首都圏本部

〒102-0093 東京都千代田区平河町2-6-3 都道府県会館13階

TEL03-5212-9030 / FAX03-5212-9029

富山県大阪事務所

〒550-0004 大阪府大阪市西区靱本町1-9-15 近畿富山会館3階

TEL06-6445-2811 / FAX06-6445-2611

富山県名古屋事務所

〒460-0008 愛知県名古屋市中区栄4-1-1 中日ビル5階

TEL052-261-4237 / FAX052-263-7308

賛助会員の募集

ひとづくり財団からのお知らせ

(公財)富山県ひとづくり財団では、学校教育との連携を図りながら元気で創造性豊かな子どもの育成をはじめ、明日の富山県を拓くひとづくりの事業に鋭意取り組んでおります。これらの趣旨にご理解いただき、ご支援、ご協力いただける賛助会員を下記のとおり募集しております。

多くの皆様のご賛同、ご入会をよろしくお願いいたします。



■年会費：法人会員 年一口 30,000円
個人会員 年一口 3,000円

■特典：機関誌の配布、イベント等の開催案内、各種報告書等の配布

■申込方法：入会いただける方は、財団へご連絡ください。

(☎076-444-2000、E-mail:toyama@t-hito.or.jp)